

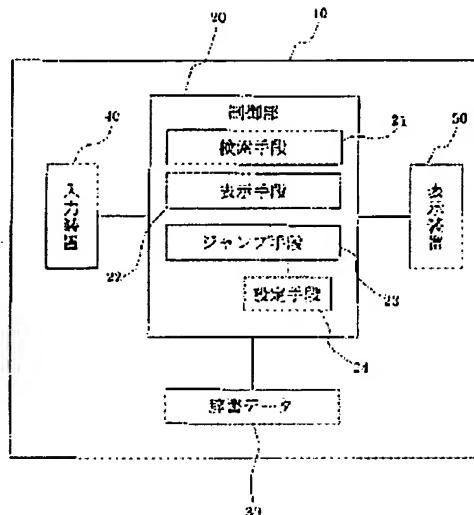
ELECTRONIC DICTIONARY

Publication number: JP2001134585
Publication date: 2001-05-18
Inventor: TAKAZAWA KAZUHISA
Applicant: SEIKO INSTR INC
Classification:
- international: G06F17/28; G06F17/30; G06F17/28; G06F17/30;
(IPC1-7): G06F17/30
- European:
Application number: JP19990314022 19991104
Priority number(s): JP19990314022 19991104

[Report a data error here](#)

Abstract of JP2001134585

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an electronic dictionary which can freely use various dictionaries. SOLUTION: In the electronic dictionary provided with dictionary data 30 having information corresponding to index words and having at least three dictionaries, a jump means 23 which performs retrieval from other dictionaries when one of three dictionary is in use, and with a setting means 24 which sets a dictionary to be used by making a jump by the jump means 23, the setting means 24 is able to selectively set whether the dictionaries are set in advance or at each time.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-134585

(P2001-134585A)

(43)公開日 平成13年5月18日(2001.5.18)

(51)Int.Cl.
G 06 F 17/30
17/28

識別記号

F I
G 06 F 15/40 3 7 0 J 5 B 0 7 5
15/38 A 5 B 0 9 1
15/40 3 1 0 G
15/403 3 2 0 A

テ-マコ-ド*(参考)

(21)出願番号 特願平11-314022
(22)出願日 平成11年11月4日(1999.11.4)

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 7 頁)

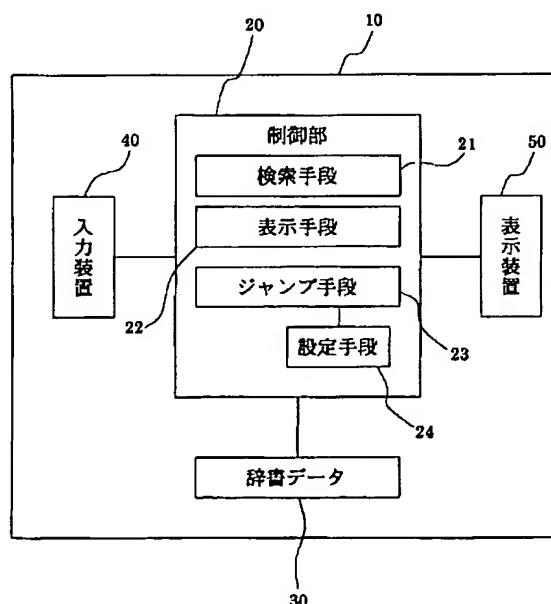
(71)出願人 000002325
セイコーインスツルメンツ株式会社
千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目8番地
(72)発明者 高沢 一久
千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目8番地 セ
イコーインスツルメンツ株式会社内
(74)代理人 100096286
弁理士 林 敬之助
Fターム(参考) 5B075 ND03 NK02 NK44 PP02 PP12
PP13 PP22 PQ02 QP05 UU02
UU03
5B091 AA04 BA02 CB02 CB06 CB22
CC02

(54)【発明の名称】 電子辞書

(57)【要約】

【課題】 種々の辞書を自由に使うことのできる電子辞書を提供する。

【解決手段】 見出し語に対応して情報を有する辞書データ30が少なくとも3つ以上の辞書を有し、そのうちの1つの辞書を使用中に他の辞書で検索を行うジャンプ手段23を具備する電子辞書10であって、前記ジャンプ手段23によりジャンプして使用する辞書を設定する設定手段24を具備し、該設定手段24は辞書を予め設定するか又はその都度設定するかを選択して設定できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 見出し語に対応して情報を有する辞書データが少なくとも3つ以上の辞書を有し、そのうちの1つの辞書を使用中に他の辞書で検索を行うジャンプ手段を具備する電子辞書であって、

前記ジャンプ手段によりジャンプして使用する辞書を設定する設定手段を具備し、該設定手段は辞書を予め設定するか又はその都度設定するかを選択して設定できることを特徴とする電子辞書。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、入力された単語に對応する訳及び単語に関連する情報を表示する英和、和英、国語、英英等に代表される電子辞書に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、入力された語句の訳、品詞、類語、例文等の情報を表示する電子辞書においては、まず、表示画面を見ながら文字を入力し、次に検索を行う実行鍵を押すと表示されていた文字に替わってその語句の訳等の情報が表示画面に表示されるというものであった。

【0003】また、このような電子辞書には、訳中の英単語に対して英和等の辞書で訳が検索できるものもある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような電子辞書では、使い方が限定されてしまうという問題がある。本発明はこのような事情に鑑み、種々の辞書を自由に使うことのできる電子辞書を提供することを課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決する本発明の第1の態様は、見出し語に對応して情報を有する辞書データが少なくとも3つ以上の辞書を有し、そのうちの1つの辞書を使用中に他の辞書で検索を行うジャンプ手段を具備する電子辞書であって、前記ジャンプ手段によりジャンプして使用する辞書を設定する設定手段を具備し、該設定手段は辞書を予め設定するか又はその都度設定するかを選択して設定できることを特徴とする電子辞書にある。

【0006】かかる本発明の電子辞書では、ジャンプ手段によって所望の辞書にジャンプして使用され、そのジャンプ先の辞書の設定は、予め設定するか又はその都度設定するかを選択できるため、種々の辞書を自由に使うことができる。

【0007】

【発明の実施の形態】以下に本発明を実施形態に基づいて詳細に説明する。

(実施形態1) 図1は、本発明の実施形態1に係る電子辞書の構成を示すブロック図であり、図2は、電子辞書

の外観図である。

【0008】図示するように、電子辞書10は、各部の制御を行う制御部20と、ROM等のメモリーに格納された辞書データ30と、文字の入力及び電子辞書の操作を行う入力装置40と、各種情報を表示する表示装置50とを具備する。制御部20は、ROM等のメモリーに格納された制御プログラム等をCPUで動作させることにより電子辞書10を総括的に制御するものであり、主として、検索手段21、表示手段22、ジャンプ手段23及び設定手段24を有する。

【0009】辞書データ30は、少なくとも3つ以上の辞書、例えば、本実施形態では、英和、和英、英英及び類語辞書を有し、各辞書データは、見出し語とその訳とからなり、訳の中にはサブ情報として、見出し語を使用した成句及び例文、並びに見出し語の解説等が含まれている。なお、辞書データ30のデータ構造は、特に限定されず、サブ情報が訳中に入り込んでそのまま保存されていてもよいし、サブ情報のみを辞書本体から抜き出して、別途データを保存した構造であってもよい。

【0010】入力装置40は、文字を入力するための文字キー41と、辞書の種類を選択したり、見出し語や成句等の選択や訳や例文等の表示など選択や確定を行うための選択キー42、さらには電源のオンオフを行う電源スイッチ49を有している。選択キー42は、例えば、辞書を選択する辞書選択キー43、カーソルの移動を行うカーソルキー44、訳の表示及び確定等を行う訳キー45、検索対象となる辞書の移動を行うジャンプキー46などを有している。

【0011】表示装置50は、液晶表示装置であり、各種情報を表示することができる。検索手段21は、文字キー41等により入力された文字に對応する見出し語を検索する。具体的には、辞書選択キー43の「英和」、「和英」、「英英」、「類語」の何れかを押した語訳モードでは、入力文字列を含む見出し語を選択された辞書データ30から検索し、また、辞書選択キー43の「スペル」を押したスペルチェックモードでは、入力文字列に類似する見出し語を選択された辞書データ（これは予め選択できるようにしてもよいし、例えば、英和及び英英の両者としておいてもよい）から検索する。

【0012】表示手段22は、各種操作を案内する必要な情報、検索手段21が検索した結果を表す情報を表示装置50に出力する。ジャンプ手段23は、検索手段21が1つの辞書を使用中に、他の辞書に移動させて検索を実行させる。設定手段24は、ジャンプ手段23によって移動される辞書の設定を行うものである。

【0013】このような電子辞書10では、文字キー41によって文字を入力すると、入力された文字は制御部20によって文字列としてRAM等の記憶手段に一時的に記憶される。そして、制御部20の検索手段21は、RAMに記憶された文字列と、記憶された辞書データ3

0の見出し語との比較から候補となる見出し語及び訳を検出し、検索された見出し語及び訳は一時的にRAMに記憶される。このRAMに記憶された見出し語及び訳は、表示手段22によって表示装置50に表示される。

【0014】このとき検索手段21は、文字を入力する際に設定された1つの辞書で見出し語及び訳を検出し、表示手段22によって画面に表示されるが、本実施形態の電子辞書10では、表示された訳文中の文字列を選択することにより、その文字列について他の辞書で見出し語及び訳を検出して画面に表示されることがある。すなわち、訳文中の文字列を選択するとジャンプ手段23によって所定の辞書に移動され、移動された辞書で見出し語及び訳が検索手段21によって検出され、表示手段22によって画面に表示される。

【0015】ここで、ジャンプ手段23による移動先の辞書は設定手段24によって設定されるが、その移動先の辞書の指定は、予め設定しておくか、又はその都度設定するかを選択することができる。すなわち、ジャンプ手段23によって辞書が移動される際には、常に決まった辞書に移動されるように設定しておいてもよいし、あるいはジャンプ手段23によって辞書が移動される際に、その都度、移動先の辞書を指定するようにしてもよい。

【0016】ここで、本実施形態に係る電子辞書の表示動作の一例について説明する。図3及び図4は、本発明の電子辞書の使用状態の一例を示すフローチャートであり、図5及び図6は、各ステップで表示される画面の一例を示す図である。まず、ステップS1で電源スイッチ49によって電子辞書10の電源を入れ、ステップS2で辞書選択キー43によって目的の辞書を選択する（この場合には和英が選択された）と、表示手段22によって表示装置50に選択した辞書に対応する文字入力画面が表示される。この文字入力画面を見ながらステップS3で文字キー41によって所定の文字を入力する。入力された文字は、文字列としてRAMに一時的に記憶される。このときの画面を図5(a)に示す。なお、図5(a)は、和英辞書を選択し、「とっきょ」と入力した例である。

【0017】次に、ステップS4で訳キー45が押されたかどうかを判断し、押された場合には、ステップS5で検索手段21が辞書データ30の所定の辞書、本実施形態では、和英辞典のデータを検索して入力文字列を含む見出し語を検索し、RAMの所定の領域に一時的に記憶する。そして、入力された文字列を含む見出し語の候補リストが表示手段22によって表示される。表示された候補リストの先頭の見出し語にはカーソルが表示されており、ステップS6でカーソルキー44によってカーソルの移動があったかどうかを判断し、移動した場合は、ステップS7でカーソルを移動して表示する。次に、ステップS8で訳キー45が押された場合には、ス

テップS9で表示手段22が目的の見出し語の訳を、図5(b)に示すように全画面に表示する。なお、ステップS5で、候補となる見出し語が一つのみの場合には、候補リストが表示されることなく見出し語の訳が全画面に表示される。

【0018】また、表示された訳文中には、成句、例文及び解説等のサブ情報が標識として表示されており、この標識を選択することにより、そのサブ情報が画面に表示される。なお、サブ情報である成句及び例文は、キーワードを入力することにより直接検索することもでき、訳文中からでなくても画面に表示させることができる。

【0019】ここで、画面に表示された、例えば、訳文中の文字列（英単語）について、英英辞典等の他の辞書で検索したい場合、新規に辞書の選択から操作をやり直してもよいが、画面上の文字列を選択することにより、その文字列について英英辞書で検索して、見出し語及び訳を表示させることができる。具体的には、ステップS9で見出し語の訳が表示された状態で、ステップS10でジャンプキーが押されると、ステップS11で、訳文中の最初の文字列（英単語）にカーソルが表示される。次に、ステップS12で、カーソルがカーソルキー44によって検索する文字列に移動され、ステップS13で訳キーが押されると、ステップS14で、図5(c)に示すように、ジャンプ先の辞典名リストが表示される。そして、ステップS15でカーソルが画面上の所望の辞典名に移動されて、ステップS16で訳キー45が押されると、設定手段24によってジャンプ手段23によるジャンプ先が設定されると共にジャンプ手段23が検索対象となる辞書を移動させる。例えば、本実施形態では、英英辞典が選択され、ジャンプ手段23によって和英辞典から英英辞典に移動する。そして、検索手段21が移動先の辞書、すなわち、英英辞典のデータを検索してステップS13で選択された文字列の訳を検索し、ステップS17で表示手段22が検索結果である訳を画面に表示する。

【0020】このとき、文字列が選択された画面、本実施形態では「とっきょ」の訳画面の画像情報、すなわち、各種設定条件、検索モード及び表示状態等の各種条件情報がRAM等に保存され、戻るキー48が押された場合には、元の画面（「とっきょ」の訳画面）が保存された各種条件情報から再現されて画面に表示されるようになっている。

【0021】なお、ジャンプ先の辞書で検索された訳中の文字列をさらに選択すれば、上述と同様に、その文字列について他の辞書で検索を行うことができる。ここで、本実施形態では、訳中の文字列を選択し、ジャンプ手段23によって辞書が移動される際に、その都度、移動先の辞書を指定するようにしているが、予め移動先の辞書を設定しておくこともできる。この場合には、ステップS16で訳キーが押されると、ジャンプ手段23によつ

て自動的に選択対象となる辞書が移動される。

【0022】また、これらの辞書の設定方法は、使用目的に合わせて選択することができるようになっている。以下、その手順について説明する。ステップS1で電源が投入された後であれば、何れのタイミングでもよいが、図4に示すように、ステップS31で例えば、シフト+ヘルプキーからなる設定キー47が押されると、ステップS32で電子辞書10の各種設定項目からなる「設定メニュー」が表示される。そして、ステップS33でカーソルがジャンプ先辞典設定項目に移動され、ステップS34で訳キー45が押されて選択されると、ステップS35で、図6に示すように、ジャンプ先辞典設定画面が表示される。次いで、ステップS36でカーソルが所定の項目、すなわち、「毎回選択」又は「所定の辞典名」に移動され、ステップS37で訳キー45が押されると、設定手段24が設定するジャンプ先の辞書を毎回選択するか、或いは所定の辞書に固定するかが決定される。なお、図6に示す画面では、「毎回選択」に設定されている。そして、ステップS38で、「設定メニュー」の表示に戻り、ステップS39でカーソルがカーソルキー44によって「確定」の項目に移動され、ステップS40で訳キー45が押されると、ステップS41で、設定した内容が確定される。

【0023】なお、図3のステップS17で検索結果が表示されると、その後は、ステップS18で戻るキー48が押された場合には、ステップS9に戻り、ステップS19で他の単語を調べる場合には、ステップS2に戻り、他の単語を調べない場合には、ステップS20で電源スイッチ49で電源をOFFにして、一連の作業を終了する。

【0024】このように、本実施形態では、訳中の文字列を選択することにより、検索対象となる辞書を移動して検索し、その結果を表示させることができ、検索対象となる移動先の辞書の設定は、予め設定するか又はその都度設定するかを選択することができる。したがって、使用目的に合わせて移動先の辞書の設定方法を選択することにより、操作性を向上することができる。

【0025】(その他)なお、上述の実施形態では、訳中の文字列を選択することにより、その文字列について

他の辞書で検索し、検索結果を表示するようにしたが、勿論、同一辞書で検索して検索結果を表示することもできる。また、上述の実施形態では、訳文中の文字列を選択した例について説明したが、例えば、例文又は成句等のサブ情報が表示された画面であっても、上述同様、その中の文字列を選択することにより他の辞書で検索することができる。

【0026】

【発明の効果】以上説明したように本発明の電子辞書では、ジャンプ手段によってジャンプして使用する辞書を設定する設定手段を設け、この設定手段によって予めジャンプ先の辞書を設定するか又はその都度設定するかを選択できるようにしているので、用途に合わせて選択することにより、操作性を向上することができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の各実施形態に係る電子辞書の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の各実施形態に係る電子辞書の外観図である。

【図3】本発明の実施形態1に係る電子辞書の使用状態の一例を示すフローチャートである。

【図4】本発明の実施形態1に係る電子辞書の使用状態の一例を示すフローチャートである。

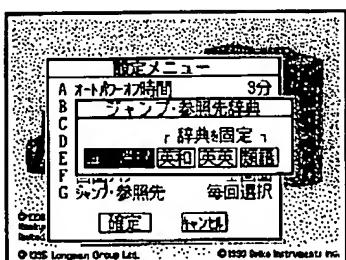
【図5】本発明の実施形態1に係る電子辞書の画面の一例を示す図である。

【図6】本発明の実施形態1に係る電子辞書の画面の一例を示す図である。

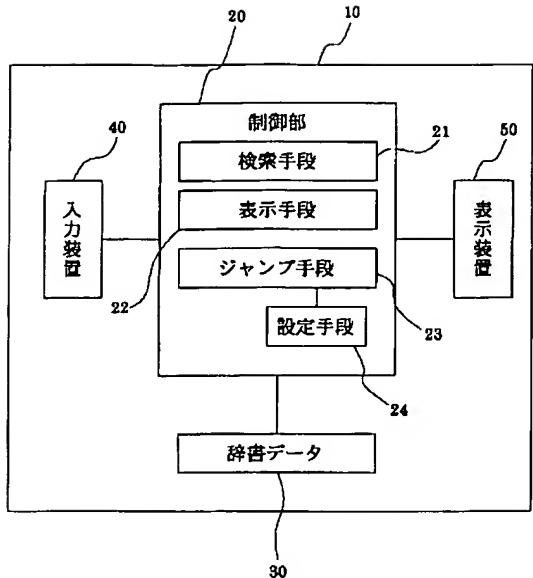
【符号の説明】

- 10 電子辞書
- 20 制御部
- 21 検索手段
- 22 表示手段
- 23 ジャンプ手段
- 24 設定手段
- 30 辞書データ
- 40 入力装置
- 50 表示装置

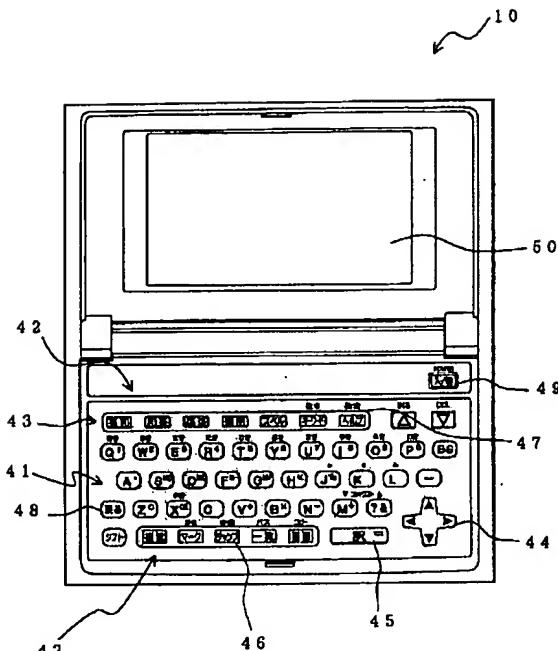
【図6】



【図1】

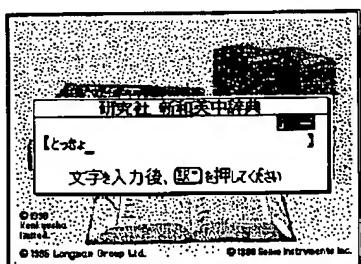


【図2】

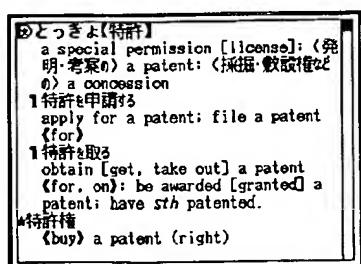


【図5】

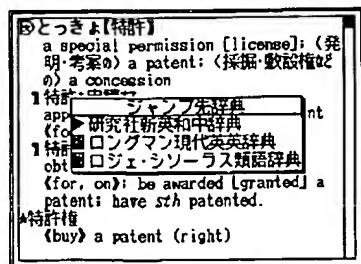
(a)



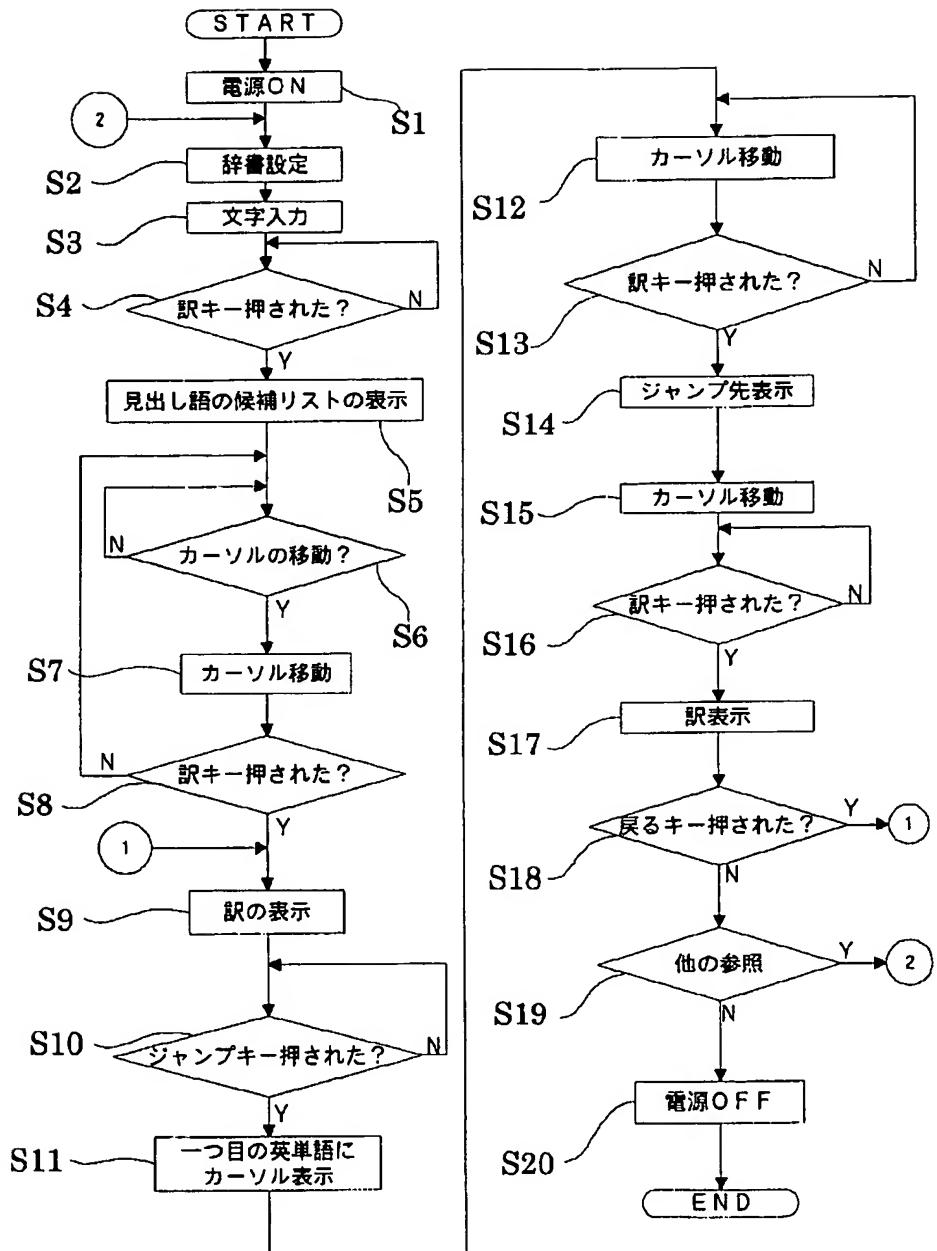
(b)



(c)



【図3】



【図4】

